

4.1.3.2 建設業部会

- 1) 事業活動計画及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した。(三役会 12 回、部会 2 回開催)
- 2) 生産性向上、品質確保及び環境保全をねらいとした「人づくり」、「場づくり」として、次の活動を行った。
 - ①機電技術者の交流・育成に資する「場づくり」を行った。

(機電技術者交流企画 WG)

 - イ) 平成 28 年 10 月 13、14 日、第 20 回機電技術者意見交換会を開催した。(参加者 22 名) また、交換会の模様を平成 28 年 10 月 17 日、建設 2 紙に掲載した。意見交換会の報告書は、平成 29 年 3 月にホームページに掲載し、機関誌「建設機械施工」には平成 29 年 4 月号に掲載する予定である。
 - ロ) 平成 28 年 10 月 14 日に、「i-Construction について」「A4CSEL (クラウドアクセス生産システム) とは」の講演会を開催した。
 - ハ) 若手機電技術者の知識向上を目的とした見学会を開催した。
 - ・平成 28 年 8 月 4 日にコマツ IoT センタ (コマツレンタル美浜機械センタ) の見学会を開催し、機関誌「建設機械施工」9 月号に掲載した。(参加者 27 名)
 - ・平成 29 年 1 月 26 日に新東名高速道路 羽根トンネル工事 (施工者: 鹿島建設・熊谷組特定建設工事共同企業体) の見学会を開催し、機関誌「建設機械施工」平成 29 年 4 月号に見学報告を掲載予定である。(参加者 18 名)
 - ②各部会の交流を目指した合同部会を平成 29 年 2 月 22 日に開催し、当部会から、建設機械の事故・災害分析について中間報告を行った。(参加者 23 名)
- 3) 建設機械の事故防止に資する諸活動を展開した。
 - ① 建設機械(クレーン以外)の事故・災害事例のキーワード分類、発生要因分析を実施し、建設業部会員に公開した (6 月 20 日 CD 配布)。(建設機械安全情報 WG)
 - ② クレーンの事故・災害事例の収集を実施し、協会ホームページへの掲載を目指した内容整理を実施した。またタワー式クローラクレーン転倒事故の再発防止に関するアンケート調査を実施中である。(クレーン安全情報 WG)
- 4) 情報化施工、建設ロボットおよび ICT 活用工事の調査を目的に、次の活動を行った。
 - ① 平成 28 年 9 月 6、7 日、伊良原ダム建設工事 (施工者: 大成・フジタ・岡本土木 JV)、大分川ダム (一期) 工事 (鹿島・竹中土木・三井住友 JV) の見学会を開催した。(参加者 16 名) 見学会報告を機関誌「建設機械施工」平成 28 年 10 月号に掲載した。
 - ② 平成 28 年 8 月 2 日、平成 28 年度建設施工の地球温暖化対策検討分科会に参加し、ホイールクレーンの燃費基準の設定検討に関して、ユーザーの立場から提言を行った。
 - ③ 平成 29 年 1 月 11 日、国土交通省関東地方整備局企画部と新技術・ICT 施工に関する意見交換会を実施した。(参加者 9 名)
 - ④ 平成 29 年 2 月 16 日、日立建機 ICT デモサイト及び日立建機土浦工場の見学会を実施した。(参加者 19 名) 見学会報告を機関誌「建設機械施工」平成 29 年 4 月号に掲載予定である。